

常任委員会報告

3月9日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

総務常任委員会（3月11日）

質問 防災備蓄物資整備事業の今後の計画は。

答弁 3月に指名委員会、4月に入札、5月に仮契約、6月議会の議決後に本契約し、その後発注する予定。

質問 資源物売却収益金7,279千円の内訳について。

答弁 古紙類418千円、アルミ缶等297千円、金属売却2,926千円、古布類138千円、ペットボトル3,500千円。また、粗大ごみ収集手数料500円の徴収により約60万円の増収を見込んでいます。

質問 新規事業「書×アート。感性を生むまち小城プロジェクト」の委託先について。

答弁 動画制作が可能な事業所へ委託する方針。廃棄物中継センター施設整備事業の完成時期について。

答弁 建物完了が令和9年10月頃、全て完了は令和10年3月末を見込む。

質問 防災ハザードマップの更新について。

答弁 県河川の浸水想定区域の見直しを反映したものとする。



▲廃棄物中継センター（牛津町）

文教厚生常任委員会（3月12日）

質問 令和8年度小城市一般会計「(新規)乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)」について、利用時間は月10時間上限とあるが、1日の上限はあるのか。

答弁 園によって設定されている時間が異なるが、私立園のおひさまこども園は、火曜日と木曜日の9時半から12時まで、公立園の砥川保育園は、火曜日、木曜日と金曜日の9時半から11時半までを予定している。

質問 「学校生活支援員事業」について、市内の全学校に配置されているのか。また、支援員の業務内容は。

答弁 市内の4つの中学校に一人ずつ合計4人を配置している。また、支援員は、学校で不登校の生徒の支援をしており、様々な学習サポートや面談などを行い、復帰を目指して支援している。

質問 「国史跡土生遺跡公園維持管理事業」について、令和7年度より事業費が増えている要因は。

答弁 土生遺跡の公園北側の側溝部分設置のグレーディングが安定せず、その工事費として380万円程度の増加を見込んでいます。また、トイレの改修は、現在のところ予定していない。



産業建設常任委員会（3月13日）

質問 令和8年度小城市一般会計「物価高騰対応くらし応援券事業」について、物価高騰対応くらし応援券事業のスケジュールは。

答弁 対象者を、4月1日現在の住民登録で確定させ、5月上旬から配布、市内での利用の期間を10月末までと考えています。

質問 「芦刈地区観光資源再生事業」について、世界でも唯一のムツゴロウ・シオマネキの保護区との認識で、取り組みを行うのか。

答弁 芦刈の海岸については、希少な生物がいて保護区という位置付けになっている。浚渫等について、希少な生物の生息環境の向上が目的の1つとしてある。観光施設としての干潟体験を楽しむ、という目的もある。

質問 「空家等対策推進事業」について、危険空き家等除去補助金は旧町の何軒を対象にしているのか。

答弁 所有者がみずから家を解体する費用に補助するもので、芦刈地域の過疎地域については、1件50万円の3件で1,500千円、芦刈町以外で1件500千円の3件で1,500千円。不良住宅として、倒壊寸前や倒壊している家の国の補助を含み1件の1,000千円、合計7件の400万円を計上している。

質問 令和8年度小城市下水道事業会計予算について、接続戸数が595戸増えている。下水道区域外が増えているのか、下水道関係が増えているのか。

答弁 浄化槽の設置分もあるが、下水道の整備を行っており、整備をした箇所の接続増と整備完了後数年たって、接続される方もいる。過去近年の伸び率を考慮して今回の9,222戸という形で見積もっている。

質問 浄化槽の設置分もあるが、下水道の整備を行っており、整備をした箇所の接続増と整備完了後数年たって、接続される方もいる。過去近年の伸び率を考慮して今回の9,222戸という形で見積もっている。